

八市財政第602号
令和4年10月21日

各部（公室）長・部（公室）次長
支所長・課かい長 様

財 務 部 長

令和5年度予算編成方針について

令和5年度予算編成方針について、八代市予算規則第4条の規定に基づき以下のとおり通知します。

国においては、「経済財政運営と改革の基本方針 2022」で、これまでの財政健全化目標に取り組みつつ、社会保障関係費の増加が見込まれる中、新型コロナウイルス感染症対応、デジタル変革、グリーン化、活力ある地域づくりの推進など、持続可能な地域社会の実現を目指していくこととしています。

熊本県においては、熊本地震・新型コロナウイルス感染症・豪雨災害の3つの課題への対応を最優先として取り組んでおり、今後も着実に歩みを進めていく必要がある一方で、中期的な財政収支の試算では、今後の財源不足と県債残高の増加が見込まれるため、真に必要な事業への選択と集中を徹底し、将来負担を考慮しながら、予算編成に努めるとしています。

本市においては、最優先課題である坂本町の創造的復興、新型コロナウイルス感染症対策のほか、「第2次八代市総合計画 第2期基本計画」及び「第三次八代市行財政改革大綱」において、特に重点的に取り組む施策として、5つの重点戦略を計画的に推進していくこととしています。

また、原油・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高騰、少子高齢化等の社会情勢の変化への対応に加え、SDGsやデジタル化の推進をはじめとする八代の未来を切り拓くための施策にも積極的に取り組んでいく必要があります。

そのような中、限られた一般財源の枠で時代の変化に応じた行政サービスを継続していくには、行財政改革を着実に実行し、真に必要な分野に限りある資源を適切に配分する必要があり、ビルド・アンド・スクラップの原則に基づき、財源を生み出す努力をしていくことで、将来的にも持続可能な財政基盤の確立につなげていくことが重要となります。

令和5年度当初予算編成にあたっては、こうした考えの下に編成しますので、各部課かいにおかれては、別添「予算編成要領」に基づき、予算要求書を提出されるようお願いいたします。